

Catch Ball

 びばい広報誌



迎春

平成21年 元旦

今年もJAびばいを
よろしくお願いします。

新年号

1
January 2009
vol. 748

祝 頌春



美唄市農業協同組合

代表理事組合長

海老田 聖一

初春は
心の短冊真白きに
希望の二文字
凛と認め

謹んで初春のお祝詞を申し上げますと共に、ご健勝と申す新年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。この一年間、農協事業に特段のご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。皆様をはじめ、関係機関の皆さまに、衷心より感謝申し上げます。今年が皆様にとりまして、平穏で幸福な一年に成りますよう、祈念申し上げます。ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

は、暖かみやす平成二十年度は、作物の生育が順調で、収穫も豊作と見込まれます。しかし、天候不順による被害も発生し、農家の収入に悪影響を及ぼす可能性があります。また、国際市場の動向も注視する必要があります。

重なり、組合員に授けられた下、貴

れば「三つの備え」と言われ、新年にあたり、心よりお慶び申し上げます。この一年間、農協事業に特段のご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。皆様をはじめ、関係機関の皆さまに、衷心より感謝申し上げます。今年が皆様にとりまして、平穏で幸福な一年に成りますよう、祈念申し上げます。ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

其の三 基礎整備への備え
基礎整備は、農協の根幹を成すもので、毎年実施されるべきです。特に、農家の収入に悪影響を及ぼす被害も発生し、農家の収入に悪影響を及ぼす可能性があります。また、国際市場の動向も注視する必要があります。

其の二 農地取得への備え
農地取得は、農協の重要な事業の一つです。特に、農家の収入に悪影響を及ぼす被害も発生し、農家の収入に悪影響を及ぼす可能性があります。また、国際市場の動向も注視する必要があります。

其の一 激変への備え
激変は、農協の重要な事業の一つです。特に、農家の収入に悪影響を及ぼす被害も発生し、農家の収入に悪影響を及ぼす可能性があります。また、国際市場の動向も注視する必要があります。

新年あけましておめでとうございます。新しい一年が、皆様に幸多き年となる事を心より御祈念申し上げます。共に、本年も御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

融雪は進み、昨年の水稲は、期が心配されました。後、期には心配がなくなり、順調な生育傾向がみられます。カメムシ被害も少なく、作況指数も一〇五という好成績を挙げ、米出荷が実施される見込みです。また、小麦、大豆の出荷も進んでいます。

農協としても、過去最高の品質は、シワや扁平により、下位等級が多くなり、残念な結果に終わりましたが、増収は皆様の努力の賜物であり、敬意を申し上げます。

園芸作物は、主であるグリーンアスパラを中心に、五月の異常低温により、大きな被害を受け、軟白長な苗工場の風雪害による突発的な被害を除く等、価格も台風の来延びず、無かつた事

年頭にあたり



美唄市農業協同組合

専務理事

村上 利雄

新年あけましておめでとうございます。新しい一年が、皆様に幸多き年となる事を心より御祈念申し上げます。共に、本年も御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

融雪は進み、昨年の水稲は、期が心配されました。後、期には心配がなくなり、順調な生育傾向がみられます。カメムシ被害も少なく、作況指数も一〇五という好成績を挙げ、米出荷が実施される見込みです。また、小麦、大豆の出荷も進んでいます。

農協としても、過去最高の品質は、シワや扁平により、下位等級が多くなり、残念な結果に終わりましたが、増収は皆様の努力の賜物であり、敬意を申し上げます。

園芸作物は、主であるグリーンアスパラを中心に、五月の異常低温により、大きな被害を受け、軟白長な苗工場の風雪害による突発的な被害を除く等、価格も台風の来延びず、無かつた事

も重なり市場には作物が潤沢に出回り、販売高では厳しい数字となっており、まいりました。

農業を取り巻く環境は、米国のサブプライムローンから発生した金融危機の渦が、日本にも襲いかかり、原油を始め、肥料や生産物資材の高騰となり、農業経営に大きな影響を及ぼす事が明白であります。

今、油関係は少し落ち着いていますが、他資材の不足から被害を最少にするべく、単協、ホクレンと連携し、国、道へも支援対策を要請している所でもあります。

又、世界貿易機関(WTO)交渉は、年内モダリティ(保護削減の基準)合意に向け、関係会合が開かれようとしております。重要品目の数や取り扱いは、安易な妥協は、ミニマムアクセス(最低輸入機会)の増加による壊滅的な影響を、日本農業の前提に食糧輸入国として、前提に食糧輸入国として、貿易の場から公平で公正な貿易ルールが確立されるまで、一方的な負担や犠牲は受け入れられないよう、態度で対応するよう要

請行動を継続していきます。今程食糧に対し安全・安心が注視されている時は、無かつたと思っております。

偽装、農薬入食品、事故、米の扱いと国内外を問わず、不信感が募りました。そんな中で、顔の見える身近な地域農産物が求められ、市内においても、もぎたて市、おいでな菜、ピパパート等の直売店が好評を得ています。道産米の食率も上昇しており、ななつばし、おぼろづきに加えて、今年よりゆめぴりかも生産され、良食味米でも消費拡大が期待されています。農協と致しましては、看板である雪蔵に加え、アイスクリームやエンドファイト(共生菌)と共同でトレイサビリティの確約でPRの一方、水稲の直播や春播き小麦の初冬播き技術の普及確立、道、国営農地整備事業を見据えて、いかに所得を確保するかが、生産資材の確保が恒常的に高く、各事、予想される中で、なる重要な年と肝に銘じ、供給力の高い農協を目指し、皆様の御協力を頂きながら、御誓いし、年頭の挨拶と致します。

新年にあたり



北海道農業協同組合中央会

會長 飛田 稔 章

[illegible][illegible]

いは、推進重点ケース
に対する最終推進年となつており、これらのケースを推進することとしておりま
す。ＪＡが組合員の期待に
応え、貢献して地域で信頼
となるために経営の健全な
性の確保に向けた諸対策
に取組んでいきます。
北海道全体のコスト低減
北海道上の各農業者の低減
にむけて、連合会の団体
社組は、農業関連団体
の組織整備・機能強化に
積極的取り組み所存です。
あります。

最後に、米国の金融
不況による世界経済の低
成長や、ＷＴＯ農業交渉
等国際化の波が、私ども
農業界にも本年大きな影
響を与えることが懸念さ
れます。今こそ、全道の
農家組合員の皆さんは
人々のために、一人一人
のために、という協同組
合の理念をより所にして、
ＪＡへの結集を強め、協
同運動を強力に展開する
この苦境を打開すること
が必要であります。

本年も災害がなく豊穡
の出来秋を迎えることが
でき、来年の心から祈念
申し上げ、新年のご挨拶
といたします。

情報と想いと行動力を寄せて知恵に向ける



空知中央地区農業改良普及センター

所長 広瀬 勉

新年あけましておめで
とうございます。輝かし
い初春をお迎えのことと
存じます。また農業者の
皆様が、日々の営農に精
力的に取り組まれている
ことに對して、心より敬
意を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、資材や穀物の高騰、世界的な金融危機など、激動の年でした。また、

食の安全・安心に係わる問題も発生しました。一方、食糧自給率や国産農畜産物への消費者の関心

も高まり、コメ粉への注目や食育の普及など、北海道農業にとって好素材が見られた年でもありま

した。作柄では、総じてまずまずの出来秋となり、特に水稻ではこれまでにないような高単収・良質

となつています。水稻の高単収・良質は、好天候のみならず農業者の皆様のおかげで、これまでの技術研さん

の積み重ねの賜と存じます。技術成果の可能性が一段高まり、今後のさらなる躍進が期待されます。

さて農業を取りまく今後の情勢については、根

底的な潮流も幾つかありますが、予断が困難な要素も多くあります。世界人口の増加に伴う食料不足と、国際的な枠組みの中での資源・経済取引の点では、状況の変化にあわせて我が家の農業経営や地域農業において変容できる力が、今まで以上に必要になってくると存じます。

栽培技術についてみま
すと、道内での道産米食
率の向上は、近年の米の
食味向上が大きな要因と

考えます。米用途別に求められる品質向上と品質安定は、府県産米との共通の点で、価格面ととも

に重要です。多収・安定生産・良質は、多くの基本技術が集成されて、精度の高い作業が、作物の

生理・生育に適した時期
になされて到達できるも
のです。地域内での土壌
条件等の違いを踏まえた

がら、世代を超えて情報交換をすることが地域ブランドの確立に結びつきます。

農業経営面では、従来からの課題であるコスト

低減と、所得向上を見据えた作目組合せ・機械利用方式の再検討が今後は重要となってきます。普及センターとしても、営農指標作成などを通じて、農業経営発展の可能性や栽培技術再確認に挑戦していきたいと存じます。

状況と比較できるように
することが、経営方針樹
立の点では大いに参考に
なるものです。

皆さんが、地域の現状を分析し、地域の将来への想いを互いに語り合い、今できることから行動を

始めることが、当地農業の発展の原動力になります。そしてこの地域農業の動きが、先人の築かれ

た農業の礎を次代に引き継ぐ牽引力になり、他産業とも連携する地域力に結びつくものと存じます。

結びに、皆様のご健勝と地域のご発展並びに豊穰の秋をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといた

します。

通じて、命の大切さを強く訴えていく取り組み
一、一人ひとりが地球温暖化防止の意識を高め地域に根ざすエコライフ運動の実践の取り組み
一、農村は、過疎・高齢化が進むため、高齢者が助け合える組織の支援を求め、祉活動の取り組みに高齢者福祉の次代を担うフレックシビリティの子育てへの支援の取り組み
などが大会で宣言されました。
部員の皆様にも報告させて頂き、お楽しみ頂きたいと思います。
一、女性部も十二月に開催された、出来秋を市民の皆様と祝う収穫祭をかわきりに、二十年度の後期の活動がスタート致します。
致します。農村女性の地位の向上と、教養を深める事を目的に、女性講座の開講、日常生活の中で知恵と工夫、アイディアを生かした工夫展などを予定しております。特に講座では、二十一年度からスタート致します裁判員制度について、部員の皆様にも御理解して頂くように、札幌地方裁判所から講師をお迎えいたしと考えておりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い致します。
最後に部員の皆様のご多幸と、穏やかな年になりますようお願い致します。

共生菌(エンドファイト)現地実証試験成績検討会開催

イネ・ダイズ等環境負荷軽減技術研究推進協議会(海老田聖一会長)は十二月十二日、美唄市民会館において「共生菌(エンドファイト)現地実証試験成績検討会」を開催し、農業関係者など八十五名が参加した。

冒頭、海老田会長は「今新聞紙上ではWTOの問題がクローズアップされ、大変大きな不安を抱えている。そして今年には食の安心・安全を問われる年となった。我々生産者はこれらに感

される事なく、消費者に喜ばれるよう日々努力する必要がある。今後も確証を持ちながらエンドファイトの普及啓蒙にあたりたい」と挨拶した。

成績検討会は、研究結果報告として、J A びばい 栗崎 弘利技術主幹が「共生細菌(エンドファイト)環境調和型イネ栽培技術への利用効果について」を、J A びばい米麦課 早川幸夫主任が「転換畑大豆における共生細菌(エンドファイト)の施用効果と生産性向上について」をそれぞれ報告した。

独立行政法人理化学研究所ユニットリーダー 仲下 英雄博士は、植物プロバイオティクスの開発研究について講演。エンドファイトを使用した場合とそうでない場合の比較や、エンドファイトが人間の腸内細菌と似たような環境にあると提言し、それにより植物自体が抵抗性や免疫力を持ち強くなると説明した。

その後、株式会社 前川製作所 技術研究所課長代理 伊沢剛博士からは、エンドファイト

の実用化研究開発と次年度の取組について説明がなされた。

株式会社 前川製作所 技術研究所副所長である篠崎 聡氏は「農業分野については暗い面がたくさんあるが、安心・安全な農産物作りに、この技術が普及される事を期待したい」と話した。

一日ホクレン開催

J A びばいは十一月二十六日、当J A 会議室において「一日ホクレン」を開催。青年・女性部長の他、各生産部会の会長、J A びばい理事や職員合わせて三十四名と、ホクレン岩見沢支所の総勢四十八名が参加した。

冒頭、ホクレン岩見沢支所 塩野 幹夫支所長は「J A びばいの生産者、職員との意見交換は平成6年にやって以来。その間組合員の方々のお話を聞く機会がなかった。今日は直接みなさんと意見を交換し合い、今後の取組に反映させていきたい」



と挨拶した。

ホクレンの各担当課長による平成二十年度事業推進重点事項の説明後に行われた意見交換では、「水稻単価が年々下がってきているのに、なぜ種子の値段は変わらないのか？」など積極的意見する生産者の姿が見られた。

閉会の挨拶でJ A びばい 海老田 聖一組合長は「貴重な懇談の場を設けることが出来てよかった。ホクレンにはそれぞれの生活・生産の向上を目指す大きな力となって戴きたい」と話した。

共生菌(エンドファイト)実用化実証
平成20年度



中村産「スズマル納豆」 販売開始

中村地区で作付している大豆「スズマル」が、「北海道産穫れたて大豆の納豆」として全国のイオングループで十一月十七日から販売が開始された。

同地区では、昭和六十三年より「スズマル」を試験栽培、平成四年には生産部会を立ち上げ、統一した栽培基準を設けるなど本格的に栽培を開始。現在まで十五年以上にわたり高品質大豆の生産に地域一丸となって取り



組んできている。

この納豆は一月頃までの期間限定販売となっているが、その後は商品名を変えて継続的に、中村の「スズマル」を使用した納豆を販売する予定。

J A びばい A コープ 三店でも十二月十一・十二日の二日間、二〇〇個を限定販売、あつというまに完売した。美唄市から一番近い販売店はポスフル岩見沢店となっている。

売上三〇〇〇万円突破！ もぎたて市出荷反省会

もぎたて市生産者直売部会（野浪 敏彦会長）は十一月二十七日、J A 会議室において平成二十年度出荷反省会を開催、会員約三十名が参加した。

今年度のもぎたて市は売上目標三〇〇〇万円を掲げ、四月十五日にオープンしてから十一月二十日まで七ヶ月間営業した。

冒頭、野浪会長は「様々な苦難を乗り越え、無事もぎたて市を終了することができたこと、目標としていた三〇〇〇万円も十月末で突破できたことを、心より感謝したい」と挨拶。続け

てJ A びばい 海老田 聖一組合長は「もぎたて市のみなさんは、美唄市民に『地産地消』をわかつてもらう広告塔になっている。これからも A コープの改善を共に目指しご尽力頂きたい」と挨拶した。

反省会後の懇親会では、七ヶ月間の苦労話などに花を咲かせ、会員同士の絆を深めた。



上美唄地区収穫祭 「美の里祭」開催

上美唄地域農業を考える会（安達 武雄会長）は十一月二十

二日、上美唄総合福祉会館において今年四回目を迎える「美の里祭（みのりさい）」を開催、上美唄地区農業者や農村女性、関係機関職員を招き、収穫の喜びを分かち合った。

開催にあたって安達会長は「選ばれる産地確立のため、これからも努力していきたい。」と挨拶した。

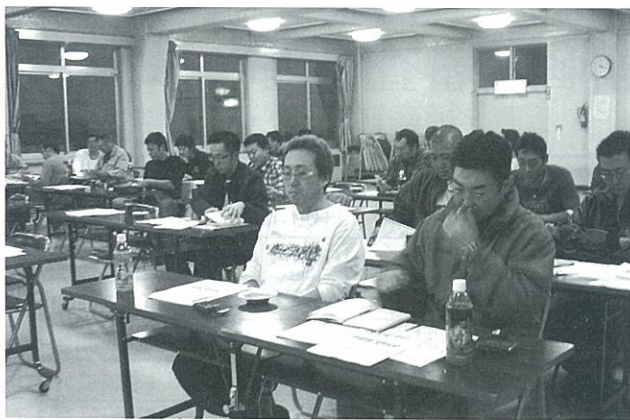
全て上美唄産の食材を使用したメニューは、ネーミングもユニークで、ふっくりんことハスカップのおにぎり「ドラキュラのおむすび」や、軟白長葱の「美肌ねぎキムチ」などがテーブルいっぱいになんだ。



市内JA青年部連絡協議会 現地営農研修発表会開催

市内JA青年部連絡協議会（JAいわみざわ大富支所 白木義一会長）は十二月一日、JAびばい会議室において、平成二十年度現地営農研修発表会を開催、会員約三十名が参加した。

発表会は、JAいわみざわ大富支所「稲作直播・小麦・大豆について」、JAみねのぶ「秋まき小麦の追肥量が収穫量におよぼす関係について」、JAびばい「共生細菌（エンドファイト）の



環境調和型イネ栽培への応用」と、各青年部の取組と結果を発表。その後、空知農業改良普及センター 松井 克行係長と福屋 秀樹専門普及指導員を講師に招き、稲作・畑作について平成二十年の反省と新品種紹介の講演が行われた。

発表会終了後は、懇親会が開かれ、会員達は出来秋などの話で盛り上がった。

女性部役員研修開催

JAびばい女性部（田島優子部長）は十二月一日・二日の日程で役員相互の交流と知識向上を目的に役員研修を開催した。

伊達・洞爺方面にて藍染め体験、北海道糖業（株）道南製糖所を研修。藍染め体験では実際にバンダナを藍染めし、役員一同満足な作品に仕上がりに、大変喜んでいった。二日目には北海道糖業（株）道南製糖所にて甜菜から砂糖が精製されるまでの行程を見学。原料は一〇〇%国産品で安心・安全には大変気を遣っており、その精製方法に皆驚いた様子だった。

研修を終えて田島部長は「こ

の役員研修を行い、役員同士の親睦が図れて本当に良かった。一月、二月と行事が目白押しなので、気を引き締めてしっかりと張りたい」と話した。



女性部収穫祭 「おぼろづき二〇〇八」開催

JAびばい女性部（田島優子部長）は十二月十二日、コアビバイのイベント広場において、収穫祭「おぼろづき二〇〇八」を開催した。

「しめ飾り作り体験コーナー」では、茶志内地区 高橋 美代



子さん指導のもと、参加した市民は手際よく作り上げた。「展示即売コーナー」では、各地区の女性部員が農作業の合間に作った手芸品などが格安で販売され、好調な売れ行きであったというまでに完売。「出来秋を食するコーナー」では、おぼろづきのおにぎりと、加工部会の手作り味噌を使用した豚汁、部員自慢の漬け物に集まった市民が殺到し大好評だった。

田島部長は「もっと消費者に耳を傾け、安心・安全な農産物を提供していきたい」と話した。

平成21年度 営農計画書審査日程

月	日	時	間	対 象 地 区	月	日	時	間	対 象 地 区
2月2日 (月)	9:00～10:30	進徳1 A			2月10日 (火)	9:00～11:00			元村美富
		進徳2				13:30～16:00			元村1
		進徳3			2月12日 (木)	9:00～11:00			山形2
	10:30～11:30	進徳西				13:00～16:00			山形1
		進徳東1			2月13日 (金)	9:00～11:00			茶志内1 兵村 茶志内1 中央
	13:00～15:00	一心2 東				11:00～12:00	茶志内2 南1 茶志内2 南2		
		一心2 西					13:30～14:30		
	15:00～17:00	一心3				14:30～15:30			茶志内2 新行
		一心1 西				15:30～17:00			茶志内2 東 茶志内2 東1 茶志内2 東6線
2月3日 (火)	9:00～10:00	東明1				2月14日 (土)	9:00～11:00		
		東明2			13:00～14:00			茶志内協和田中東	
	10:00～11:00	東明東7条			2月16日 (月)	9:00～11:00			茶志内3 新成
		共練1				13:00～15:00			茶志内3 榎本
		共練中央				15:00～17:00			
		共練東							
	13:00～14:00	癸巳南			2月18日 (水)	9:00～11:00			北美唄光栄
	14:00～15:00	癸巳中央				13:00～15:00			
	15:00～16:00	有 為				2月19日(木) ～20日(金)	9:00 ～ 16:00		
16:00～17:00	癸巳北								
2月4日 (水)	9:00～10:00	沼の内南1			2月23日 (月)	9:00～11:00			北美唄平成
	10:00～11:00	沼の内南2				13:00～15:00			
	11:00～12:00	沼の内中央			2月24日 (火)	9:00～11:00			中村南
	13:00～15:00	沼の内西				13:00～15:00			中村菱沼
		沼の内北1			2月25日 (水)	9:00～11:00			中村中央
	15:00～16:00	沼の内北1の1				13:00～15:00			中村北
2月5日 (木)	16:00～17:00	沼の内北2			2月26日(木) ～27日(金)	9:00 ～ 16:00			予備日
	9:00～11:00	開発親和							
	13:00～15:00	開発桜井							
2月6日 (金)	15:00～16:00	開発北							
	9:00～10:00	上美唄東栄			2月27日(金)	9:00～11:00			中村東
	10:00～11:00	拓 辰				15:00～17:00			
	13:00～15:00	(旧)上美唄1							
2月7日 (土)	15:00～16:00	(旧)上美唄2							
	9:00～16:00	開発南							
2月9日 (月)	9:00～10:00	(旧)上美唄昭和							
	10:00～12:00	(旧)上美唄共栄							
	13:30～15:00	(旧)上美唄沼の端							

営農計画書作成に関する留意事項

●作成会場：経営相談課事務所内

●審査会場：委員会室

クミカン取引を行う場合は、基本的に根抵当権を設定させ取引を行う事になっています。尚、担保が不足する方については保証人、又は貯金担保等により取引する事になります。保証人によりクミカン取引を行う場合は、保証人（１名）の確認と保証書の作成を致しますので２００円の印紙代を持参願います。審査の際には、保証人と同行されますようお願い致します。また、保証人の方は印鑑証明（１通）と実印（登録印）を持参下さい。

●クミカン取引は当座貸越契約になりますので２００円の印紙税を支払う事になります。印紙代を持参願います。

●組合員数の多い農事組合の方は、待ち時間がありますがご容赦願います。

●審査当日は、クミカン印鑑と同封資料一式を持参願います。

●パソコンにより計画書を作成しております。今年度様式が変更になっておりますので、様式が必要な方はFD等を持参して頂ければ事前にコピー致します。

●家計費以外の現金供給は基本的に認められませんので計画書作成にあたっては、振込での対応をお願いします。

●計画変更は基本的に認められません。昨年度の実績を考慮し、精度の高い計画を作成する事が必要です。

※審査当日は、最初に米麦課職員が中心となって営農部門の計画書を作成します。
作成場所は、研修室（経営相談課事務所手前右側）で行います。

※ 農機具等の購入予定がある方は、営農計画書作成時に相談して下さい。
事前に購入すると資金借入が出来ない場合がありますので、余裕を持った計画をお願い致します。

金融課からのお知らせ

農地保有合理化事業による農地取得 自己資金準備貯金の新設について

現在、農地を取得する際には道農業開発公社の農地保有合理化事業の利用が主流となっております。農地保有合理化事業では５年又は１０年間の賃借期間中に経営基盤を確立し、その後取得する事で買い手にはとても有利な制度です。しかし、その期間内に買入に備えた経営基盤を確立しなければならず、これが出来なければ低利で有利な公庫資金の借入が出来ず最悪の場合、離農に繋がる事もあります。

農協では平成２１年度から農地保有合理化事業による賃貸借契約をしている農業者には、買入年までに２割の自己資金を積み立てる事を目的とした「農地保有合理化事業 自己資金準備貯金」制度を新設し、積立いただく事に致しました。これから保有合理化事業をご利用される方だけでなく、現在賃借されている農業者も取得年の前年までは積立していただくことになりますのでご理解下さい。

詳細は、平成２１年の営農計画書作成時に皆様にご案内申し上げます。

こよみ・行事

1月

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 2日 ○Aコープ全店 初売り
 5日 ○仕事始め
 ○役職員合同新年会
 14日 ○内部審査（米麦課）
 ○役員報酬審議委員会
 15日 ○内部審査（農産園芸課）
 19日 ○企画経営検討会議
 20日 ○定例理事会
 23日 ○役員報酬審議委員会
 28日 ○臨時理事会
 31日 ○決算棚卸

《JAの概要》

—— 11月末 ——

- 皆さんの貯金 24,987,768千円
 ○ 皆さんへの貸出金 6,813,029千円
 ○ 皆さんの出資金 736,200千円
 ○ 組合員数
 (正) 709人
 (准) 4,206人
 (計) 4,915人

題「交」

JA川柳

交差点どっちに行こうお月さま キヌ
 ほのぼのといたわり行き交う保 みどり
 交差点もみじマークは必死です 叶代
 優しさを交えてオレオレ詐欺の 俊朗
 声
 足し算を違えた夢が交差する 英子
 交通費浮いて楽しい学徒バス すみを
 思い出も交ぜこぜになる物忘れ よし子
 一枚の賀状友好証です 光子
 交際費家計を守る妻の腕 裕子
 交番にかかわり無いが人も無し 一步
 羨望と妬みが交差する祝辞 米子
 仕切線跨いで知った人間味 勝義
 社交家の彼とんとんと昇進し 美志

～共済推進課からのお知らせ～

《共済掛金払込証明書について》

20年度分の共済掛金払込証明書は、12月中に郵送しております。

この証明書は確定申告の際に必要となりますので、大切に保管下さいますようお願い致します。

また、まだお手元に届いていない組合員の方は、お手数ですが共済推進課までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 共済推進課 ☎ 63-2164



気持ちも新たにJAの年始貯金でスタート



2009年

1月5日(月)

より窓口営業いたします。

今年もJAバンクをよろしくお願いいたします

あけましておめでとうございます
 旧年中はJAバンクをご利用いただき
 誠にありがとうございました



美唄市農業協同組合

代表理事組合長 海老田 聖一

【内部審査室】

専務理事 村上 利雄

室 長 鈴木 浩一

常務理事 岡 浩明

【管理部】

代表監事 岸 定明

管理部長兼
融資審査課長 梅田 哲也
総務電算課長 佐々木 昇
土地改良課長 吉岡 昇

常勤監事 横井 由博

職務代理理事 宮崎 義一

【信用部】

理事 川田 義和

信用部長 藤原 隆彦
信用部次長 原田 晴彦
金融課長 川原 満
共済推進課長 高橋 裕
経営相談課長 黒沼 康重

林 英明

平 良均

五十嵐 敏春

【営農販売部】

水口 幹久

営農販売部長 飯田 順三
営農販売部次長兼
施設管理課長 西川 賢
農業振興課長 森 浩和
米麦課長 坂内 文仁
農産園芸課長 村井 敦

田村 敏数

金子 義彦

一般監事 新吾 勝美

【經濟部】

矢野 義夫

経済部長兼
生活課長 星野 悟
經濟部次長 千葉 久
農業資材課長 新鞍 政則

外

職員 一 同

2009年 元旦

新年おめでとうございます



美唄市農業協同組合

会長 中山 久司

美唄市農協役員報酬審議会

委員長 三浦 敏一

JAびばい青年部

部長 小西 雅幸

JAびばい女性部

部長 田島 優子

美唄市麦センター協議会

会長 竹島 正雄

美唄麦作営農組合

組合長 細川 清次

株式会社 開発みどりふあーむ

代表取締役 伊藤 聡夫

アグリ山形合同会社

代表社員 桜井 龍雄

西美唄市麦営農組合

組合長 湯浅 重信

一心米麦営農組合

組合長 矢野 義夫

元村米麦営農組合

組合長 土屋 信博

上美唄市麦営農組合

組合長 竹島 正雄

沼の内営農組合

組合長 坂本 孝

中村共同施設利用組合

組合長 佐藤 博道

美唄市農協蔬菜部会

会長 宮崎 義一

美唄市農協玉葱部会

会長 橋本 義信

美唄市グリーンアスパラ生産組合

組合長 中谷 勇

美唄市ハスカップ生産組合

組合長 林 英明

美唄市メロン生産組合

組合長 太田 幹雄

美唄市きのこ生産出荷対策協議会

会長 笹原 俊明

美唄市軟白長葱生産組合

組合長 竹島 正雄

美唄市農協花き生産組合

組合長 平良 均

美唄稲作振興会

会長 山角 和明

美唄農業情報システム研究会

会長 向勝

美唄市農村機械化センター連合会

会長 星 光一

美唄無人ヘリコプター協議会

会長 猪俣 康資

伊藤沼地区土地改良事業推進期成会

会長 丹羽 保

沼の内地区土地改良事業推進期成会

会長 萩生田 孝一

美唄地区国営農地再編整備事業期成会

会長 伊藤 健蔵

代表 高島 敏一

代表 金子 義彦

代表 伊藤 敏男

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵

代表 伊藤 健蔵